



環境・社会報告書 2009

Environmental and social report



Research (開発研究・調査) の R
Service (行き届いたサービス) の S
Technology (世の中に役立つものを作る技術) の T

このRとSとTはお互いに深く支えあい、お互いをより素晴らしいものへと磨きあっていくという有機的な関係にあります。
 この考えを企業理念として、様々な製品を通して広く社会のお役に立ちたいと願っています。

Casting Our Eyes on the Future

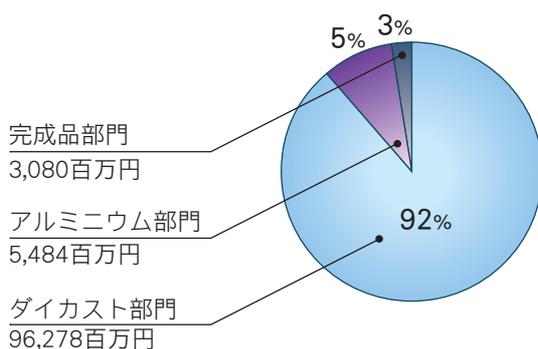
視線はまっすぐ未来へ

タグライン「Casting Our Eyes on the Future」は、その社名に込められた企業理念を実現すべく、アレスティで働く者すべての視線が、常にお客様、地球環境、そしてアレスティ自身の未来へ向けられ、Research (研究・開発)、Service (サービス) Technology (技術) において常に主導的リーダーに立ち前進しようという企業姿勢を具現化したものです。なお、“Casting”は、“投げかける”という意味の他に、当社の主要事業である“Die Casting”の意味も込めています。

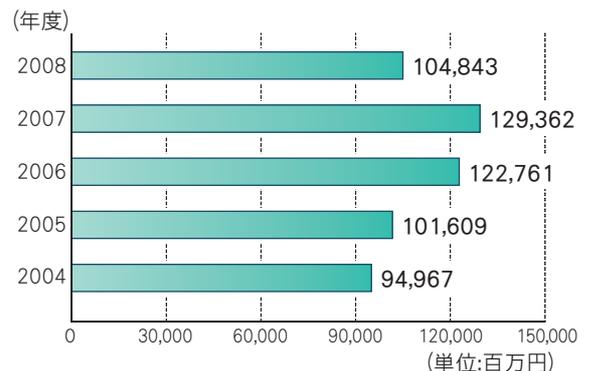
アレスティ 2008年度の重大な事柄

- ・アレスティインディアが、2008年10月から生産開始
- ・(株)アレスティ東松山工場が、NI 鋳造専用工場として稼動開始
- ・(株)アレスティダイモールド浜松、同栃木、同熊本および、(株)アレスティテクノサービスが、環境認証制度の「エコアクション21」取得活動実施(2009年6月取得予定)
- ・東海精工(株)が、2009年4月から(株)アレスティプリテックに商号変更

事業セグメント別売上高 (2008年度)



売上高



CONTENTS

会社概要・目次 1

トップメッセージ 3

社 会 ステークホルダーとの関わり

TOPICS: ボランティア活動 5

環境・社会経営 7

コンプライアンス 9

製品の環境負荷低減 10

グリーン調達 11

安全管理 12

社会コミュニケーション 13

環 境 地球環境との関わり

TOPICS: エコアクション21・eco検定 15

環境方針 17

環境組織 18

環境目標と実績 19

マテリアルフロー 21

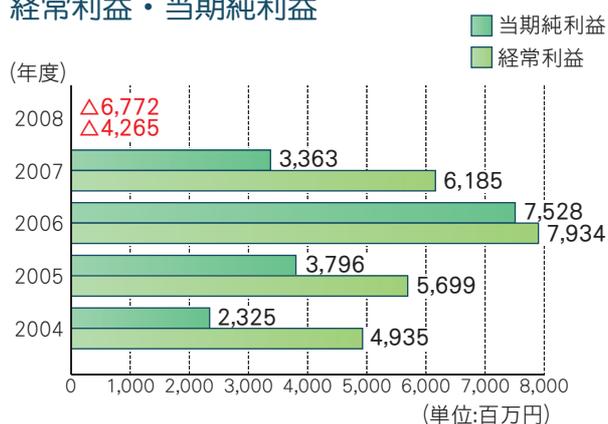
海外での環境対策 23

アーレスティ・グリーン大会 24

工場サイトレポート 25

創 業	1938年6月
設 立	1943年11月
資 本 金	51億1千7百万円
社 員 数	単体：1,041人 連結：3,937人
事 業 内 容	ダイカスト製品および アルミニウム合金地金の製造販売 フリーアクセスフロアパネルなどの 建材用品の製造販売
主 要 製 品	ダイカスト製品 (アルミニウム、マグネシウム) アルミニウム合金地金 フリーアクセスフロアパネル ダイカスト周辺機器
本 社	東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F T E L 03-5332-6001 F A X 03-5332-6037
R & D	テクニカルセンター (豊橋)
事 業 所	熊谷、東松山、浜松、豊橋
営 業 所	栃木、東京、厚木、浜松、名古屋、大阪、熊本
関 係 会 社	・ ダイカスト (株)アーレスティ栃木、(株)アーレスティ熊本、 (株)アーレスティ山形、Ahresty Wilmington Corp.、 広州阿雷斯提汽车配件有限公司、 Ahresty Mexicana, S.A. de C.V.、 Ahresty India Private Limited ・ 金型製作 (株)アーレスティダイモールド浜松、 (株)アーレスティダイモールド栃木、 (株)アーレスティダイモールド熊本、 Thai Ahresty Die Co., Ltd. 阿雷斯提精密模具(広州)有限公司 ・ 加 工 (株)アーレスティプリテック ・ 設 計 Thai Ahresty Engineering Co., Ltd ・ 関 連 機 器 他 (株)アーレスティテクノサービス

経常利益・当期純利益



編 集 方 針

2004年度から、環境報告書を毎年発行しています。昨年からは社会面を拡充し「環境・社会報告書」と名称を改めました。今年も引き続き、アーレスティの環境と社会活動をご覧ください。なお、作成にあたっては「環境報告ガイドライン2007年版」を参考にしました。

報 告 書 の 対 象 範 囲

対 象 期 間：2008年4月から2009年3月
対 象 範 囲：データの集計範囲は国内事業所・主要関連会社です。

トップメッセージ



代表取締役社長
最高執行責任者

高橋 新

2008年度のアースティを取り巻く状況について

年初から2007年度のような拡大は無いと思われていましたが、2008年度後半からは経済状況が急速に悪化してしまいました。主要なお客様である自動車産業では、大幅な販売減による在庫調整が年度末でも終わらず、低調な生産となっています。そのため当社国内生産は11月以降大幅に減少してしまいました。

一方、インドや中国では政府の経済刺激策もあり自動車の販売は好調に推移しており、当社の中国拠点（広州）においても一時的に生産減もありましたが、2009年度は生産拡大が見込まれています。インド（ハリアナ州）においても、2008年秋から生産を開始しております。

世界的な景気回復まではまだ時間を要すると思われませんが、中長期的な自動車のグローバル需要拡大や環境対応のハイブリッド化・軽量化に対応すべく技術開発・製品開発・海外拠点の整備拡張を引き続き行っております。

2008年度のアースティの変化について

自社開発の高品質ダイカスト製法N I法が、自動車の軽量化に貢献できる場面が増加する予測もあり、生産量の拡大に対応するため浜松工場から東松山工場（埼玉）にN I法の鑄造機の移設と増設を行いました。

◆ 経営者からのメッセージ

◆ 無限の知恵や工夫で

◆ 地球に優しいアーレスティを目指してまいります。

また、東松山工場に設置していた普通鋳造機は、アーレスティ山形に移設し中小物ダイカストの鋳造・加工一貫工場の拡大を完了しました。

今後、東松山工場はNI法による高品質ダイカスト専門工場としてサスペンション部品を中心に自動車の軽量化に貢献して参ります。

◆ アーレスティグループと環境との関わりとは？

自動車の軽量化やアルミのリサイクル事業による社会への貢献が中心ですが、社員を中心とした社会貢献として里山ボランティアや事業所周辺のクリーンボランティアなどを積極的に行っています。これらの活動を通じて、社会の一員として環境への意識の高揚を図り事業活動においても環境への配慮、環境改善への活動の向上につなげております。

◆ 2008年度のアーレスティグループの環境活動とは？

ISO14000シリーズの継続に加え、関係会社におけるエコアクション21の取得活動、取引先企業へのエコアクション21取得に向けた活動の奨励を行っております。また、2008年度は主要7事業所において、土壌汚染の可能性を把握する初期調査を実施しました。

今後も、事業活動を通じた軽量化やリサイクルに加え事業活動における廃棄物の100%リサイクルの継続、廃棄物の削減、CO₂の削減に取り組んで参ります。

◆ 2008年度の活動成果はいかがでしたか？

CO₂の削減、廃棄物の削減に関しては目標を達成する事ができました。またグリーン購入に関しては、古紙配合率偽装の問題から一部目標には届きませんでした。環境への配慮を行うという意識と改善は定着してきました。

残念ながら年度後半からの大幅な減産によりCO₂の削減に関しては、生産量の減少の影響が大きく、一部では生産量原単位が悪化してしまいました。CO₂に関しては生産量の拡大を念頭に総量での増加を抑制することに主眼をおいてきましたが、2009年度は、当面の生産量の低迷に伴い総量目標から原単位目標に変更してCO₂の削減に取り組んで参ります。

◆ 最後にひとこと

私たちは地球という場を借りて生活を営んでいます。人類が生活を営む中では少なからず環境を壊しています。この地球という素晴らしい星を次代に、さらに人類が永遠に豊かに生活できる場とするために、環境負荷をどれだけ少なくする事ができるかが私たちの課題です。アーレスティの事業においても個人の生活においても環境負荷を最小限にする意識を常に持ち、実行する事に務める事が重要です。経済的に難問もありますが、無限の知恵や工夫で地球に優しいアーレスティを目指してまいります。

TOPICS

アーレスティでは、社員の様々な社会貢献を支援しています。活動範囲は、清掃などの工場周辺の美化活動だけに捉われず、地域の里山ボランティアや福祉ボランティア、献血などを行っています。

また、これらの活動を行った社員に対しエコポイントを付与し、一定のポイントを貯めた社員を表彰しています。



ボランティア活動

活動抜粋

- ◎ 春の植樹デー（足尾に緑を育てる会）
- ◎ ふるさと祭り翌日ゴミ拾いボランティア
- ◎ 「みんなの森」 広葉樹の森づくり
- ◎ 530とよはしくリーンアップ大作戦
- ◎ 梅田川ふれあいクリーン作戦
- ◎ 荒川の恵みと熊谷を考える集い
- ◎ 老人ホームボランティア
- ◎ 献血活動
- ◎ 各工場周辺清掃活動

他多数



東松山工場

環境への労りを考えるのが、当り前の時代となりました。当工場がある東松山工業団地でも、携帯灰皿の配布や団地内ゴミ拾いを推進しています。東松山工場では、この活動に参加するとともに、本社と合同の里山活動や、熊谷工場と合同の荒川河川敷清掃を行ったり、東松山工場単独で団地内のゴミ拾いも行っています。清掃活動では、ちりも積もれば山となると言われる様に、集めてみるとかなりの量になり、それだけ綺麗になったと感じます。このような環境意識を持つ社員のもとで、環境に優しいN I 鋳造製品は生産されています。



熊谷工場

熊谷工場では、春と秋の年2回ゴミゼロ運動として御稜威ヶ原工業団地内のゴミ拾いを行っています。そのときに気づいたことは、車からのポイ捨てによるゴミがとても多いことです。特にタバコの吸殻、ペットボトル、空き缶です。マナー違反で工業団地内が汚れてしまって非常に残念です。この活動が少しでも工業団地内の美化につながればと思います。



浜松工場

2008年度は、1人1回の参加を目標にボランティア活動に取り組んできました。ボランティアの内容は「小さな親切」運動静岡県本部主催の清掃活動を主に、日本赤十字社への献血も行いました。7回のボランティア活動で延べ142名、浜松工場の半数が活動しました。ボランティアというと少し気恥ずかしい感じがありますが、何かの為に、誰かの為にという意識を持って貰うことで、更に参加人数を増やしていきたいと思っています。



豊橋工場

今年度は10回、延べ487名の社員が社会貢献活動に参加しました。その内の7回（延べ251名）が岩屋緑地公園で里山再生活動をしました。春には草刈、夏には伐採した雑木をチップ化して散策路に撒き、秋には竹林の間伐、冬には枯松の伐採と運出など、一年間を通じてコンスタントに活動しました。四季を通じての里山管理の大変さと大切さを学びました。



本社



本社地区では、定期的の中野坂上近辺の清掃活動と里山活動を行っています。2009年1月24日の清掃活動では、真冬の風の強い日にもかかわらず、28名の社員とその家族が参加しました。この活動は中野区ホームページの公益活動情報コーナーにもご紹介頂いています。また、東松山工場や熊谷工場と合同で、埼玉県入間郡越生町自然保護運動の一環として、「アーレスティの森づくり」と称した里山活動を、2007年度より継続して行っています。200本もの山桜などの苗を植樹し、今年度は下草刈りを行いました。大自然に囲まれた中での作業は充実感とともに日々の生活のリフレッシュにもなります。

参加者の声

本社地区で、社会貢献活動の事務局をしています。毎回、社員だけでなく、社員の家族も参加頂いている一方、参加する方が固定してきているので、もっと多くの方々に参加して頂きたいと思っています。この為、今後はより活動の幅を広げていきたいです。



本社
鈴木 勝也

テクニカルセンター



2008年度は2回の清掃活動を行ないました。まず毎年5月下旬に行われる「530運動（ゴミゼロ運動）」に参加し、地元の三弥町内全域の清掃活動を行いました。10月下旬には

「梅田川ふれあいクリーン作戦」に参加し豊橋市内を流れる梅田川の清掃活動を行いました。2回の活動共に社員の家族も気軽に参加できる活動のため、毎回多く社員&家族が参加し、地元地域に少しでも貢献できる活動を行なっています。

参加者の声

梅田川ふれあいクリーン作戦に参加しました。たくさんの方が参加していて、ビックリしました。久しぶりに体を動かし、梅田川周辺が綺麗になったので、気持ちが良かったです。また、ゴミはしっかりと分別して捨てようと、改めて思いました。



テクニカルセンター
土屋 絢加

アーレスティ栃木



4月26日、「足尾に緑を育てる会」主催の植樹活動に参加しました。カエデ、ナラ、クヌギなど落葉樹の苗やスコップを持って、約800段の階段を上り、斜面に植樹しました。汗びっし

よりになりましたが、植樹後に山頂で食べたお昼ご飯は、最高でした。この日の下山時には、この活動に毎年参加されている作家の立松和平さんにもお会い出来、立松さんのすばらしい自然観も聞けて、良い思い出になりました。2007年度から参加していますが、今後も継続していきます。

アーレスティ熊本



アーレスティ熊本の環境ボランティア活動の一環として、8月24日(日)、熊本県主催による「くまもと・みんなの川と海づくりデー」宇城市三角町若宮海水浴場の清掃活動に参加してき

ました。熊本県では、ふるさとからのきれいな川や海を健全な姿で次世代へ残していくため、「くまもと、みんなの川と海づくり県民運動」を実施しており、「くまもと・みんなの川と海づくりデー」は、その中核行事にあたります。アーレスティ熊本がある宇城市(旧松橋町)も、「きれいな町づくり」に取り組んでおり、当社は熊本県そして宇城市の一員として協力しました。当日は、早朝の開始ながらアーレスティ熊本から16名が参加し、心地よい汗をかいてきました。その後、慰労をかねてキャンプ場でバーベキューを行い、わきあいあいとした雰囲気の中、それぞれに充実した時間を過ごしました。

アーレスティ山形



国道沿いにある遊歩道の草むしり、河川の草刈、老人ホームの車いすの手入れや窓拭きなど、社員が参加し易い事を念頭に6回のボランティアを企画・開催しました。早朝からさわやかな

汗を流し、仕事の顔とはまた違った面をお互いに発見したり、社内では見られない率先力を発揮する人も！83%の高い参加率にも表れている様に、みんなで多方面に社会貢献に勤め、地域の方々にも感謝されています。

環境・社会経営

すべてのステークホルダーからの信頼を大切にしています。

経営基本方針

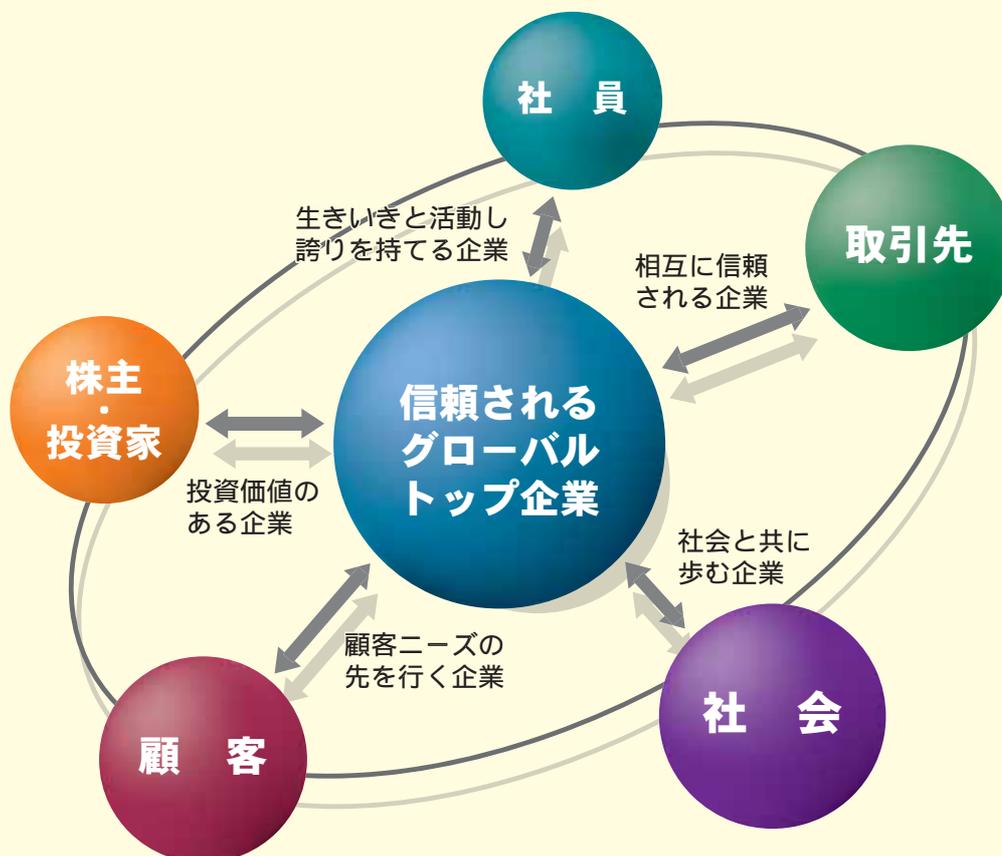
常に生きいきと活動し、理論と実験と創意と工夫を尊重して、
品質の優れた製品と行き届いたサービスを提供しよう。

10年ビジョン 2007

「すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業をめざす」
を合言葉に、ベクトルを合わせて力を発揮していきます。
会社を取り巻くすべての人達からの信頼が、アーレスティの未来につながります。

「すべてのステークホルダーから信頼されるグローバルトップ企業」をめざす

すべてのステークホルダー（利害関係者）とは、会社を取り巻く顧客・株主／投資家・社員・取引先・社会の5つを指します。



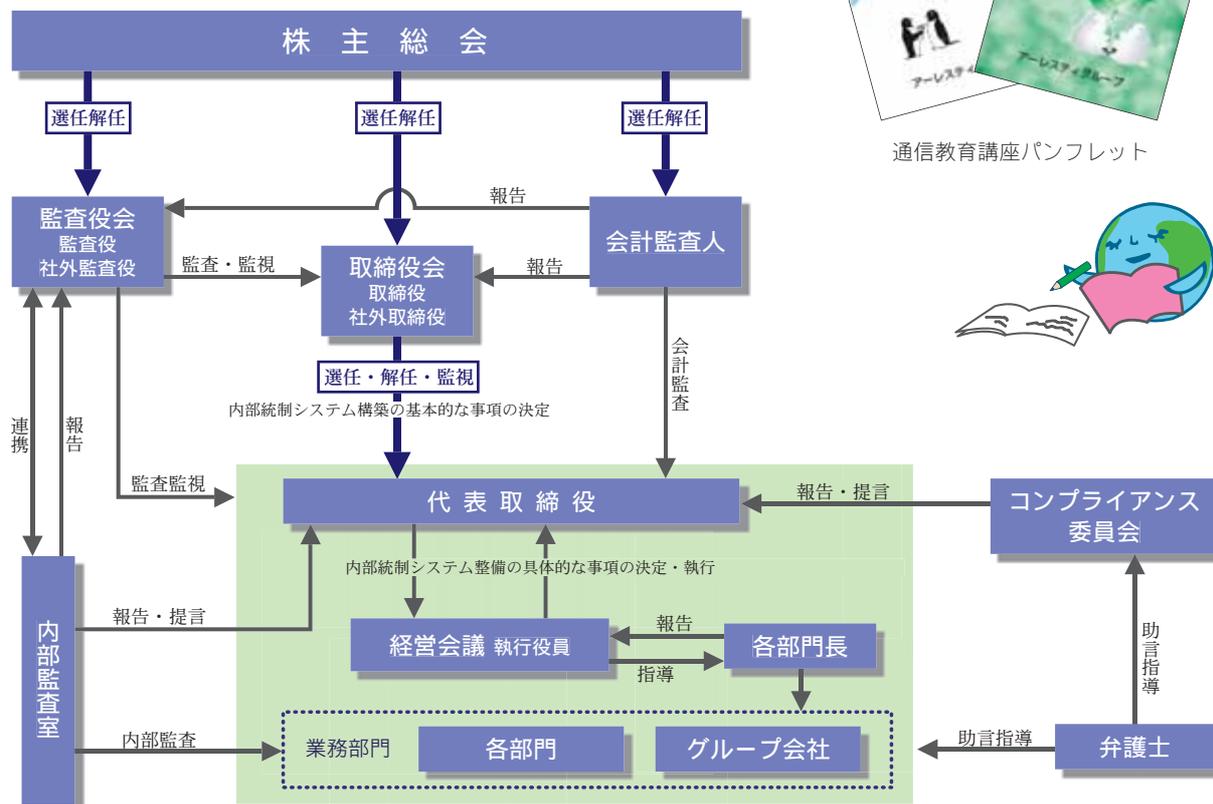
内部監査・内部統制

内部監査室による会計・業務監査を行い、諸活動の遂行の合法性・合理性を保つとともに、内部統制推進課により、有価証券報告書等への記載内容の適正性を確保しています。

コーポレートガバナンス

全てのステークホルダーに対して、経営の透明性や信頼性の確保に努め、アーレスティグループ全体の企業価値を高めています。このコーポレートガバナンスを遂行するため、「概略図」体制にて、信頼性の確保をしています。なお、コーポレートガバナンスに関する詳細な報告は、東京証券取引所ホームページ (<http://www.tse.or.jp/>) の上場会社詳細にあるアーレスティの「コーポレートガバナンス報告書」をご参照下さい。

コーポレートガバナンス体制図



通信教育講座パンフレット



社員健康管理

一般的な健康管理だけでなく、心身ともに健康に働けるよう、メンタルヘルスケアも強化しています。また、社員のご家族にもご利用頂ける外部の相談窓口も設置し、心身リスクの低減に努めています。

社内制度

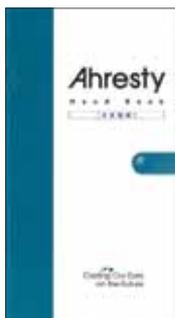
女性に優しい制度として、産前6週間・産後8週間の休暇を取得できる「産前産後休暇」や、最長1年半が取得できる「育児休暇」、対象社員の約9割の方が利用している「育児短時間勤務」といった制度があります。また教育面でも、通信教育などのスキル向上推進をしています。

コンプライアンス

誠実・公正な企業活動を遂行しています。

コンプライアンス基本方針

アーレスティでは、「私たちは、全てのお客様の満足・信頼を旨とし、品質や安全性に配慮して、優れた製品と行き届いたサービスの提供をします。」といった10のコンプライアンス基本方針を定め、順守しています。



コンプライアンス通報

社内外に、コンプライアンスに関する通報や相談の窓口を設けています。通報者・相談者の不利益にならないような仕組みを導入しています。

コンプライアンス強化月間

2009年2月はコンプライアンス強化月間とし、啓発活動を行いました。アーレスティグループが目指す「コンプライアンス」は法令順守だけでなく、企業人として、法令や会社規則の目的も理解した上で、ステークホルダーの期待に応えていくことです。このポスターの絵と、キャッチフレーズ「コンプライアンスを考える。それは本当に正しいことですか。自分の胸に聞いてみましょう。」という言葉には、そういった意味が込められています。

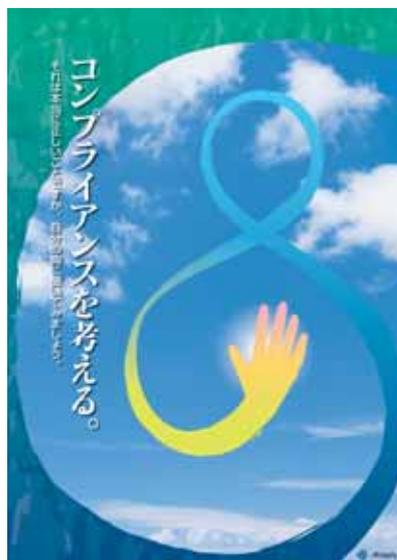
コンプライアンス推進活動



コンプライアンス委員会による活動や、コンプライアンス強化月間を行うなど、コンプライアンス意識の向上に努めています。また、外部の講師による社内セミナーも開催し、コンプライアンスの知識向上にも努めています。



コンプライアンス教育



コンプライアンスの啓発ポスター

環境負荷低減

技術力がアーレスティを支えています。

アルミニウムのリサイクル

アルミニウムは、軽くて強く錆びない上に、加工しやすく、何度でもリサイクルできる優れた資源です。これらの利点は、自動車やバイクなどの部品として利用することで、軽量化や製造効率向上に貢献しています。またこれらの製品は、リサイクルされたアルミニウムで出来ています。アルミニウムのリサイクルに必要なエネルギー量は、ボーキサイトを原料として新たなアルミニウムを作るエネルギーの量の3%と、非常に少ないエネルギーで作れるため、地球温暖化防止にも貢献しています。

RST学園

若手社員の知識や技術向上のため、RST学園という教育制度を行っています。RST学園ではベーシックコースが半年、より高度な技術を学ぶアドバンスコースが3ヶ月の期間に、ダイカスト全般の理論講習や実技学習、課題解決等を行います。この学園を卒業した皆さんは、各工場で活躍しています。

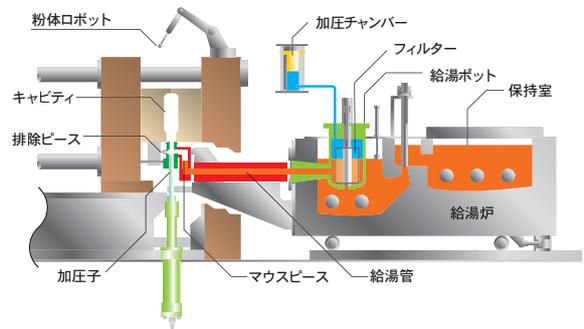


RST学園アドバンスコースメンバー

N I 鋳造法

アーレスティ独自の特殊鋳造法として、N I 鋳造法があります。N I 鋳造法 (New Injection Die Casting Process) は、一般的なダイカストの欠点である強度不足を克服するために開発した工法です。この工法で製造されたN I 鋳造品は、自動車の足回り部品などに利用されており、従来の鉄製品からアルミニウムに代替することで、35%の軽量化が実現出来た製品もあります。

N I 鋳造機概略図



社員の声



東松山工場
大沢 雅史

中小物ダイカスト生産工場からN I 鋳造専門工場への大きな様変わりをしました。熱処理等の加工設備が増え、環境側面に新しい要素が加わりましたが、「製品の軽量化を図る」とことと「環境にやさしく製造する」ということを通して、社会貢献をしたいと思っています。

グリーン調達

環境に配慮した調達を行っています。

グリーン購入

環境のことを考えた社会の構築の一助として、アーレスティではグリーン購入を行っています。グリーン購入は、グリーン購入ネットワーク（GPN）の作成したガイドラインに準拠した「アーレスティグリーン購入ガイドライン」を策定し、活動しています。

2008年度は、昨年発覚した古紙偽装の影響により、紙類のグリーン購入率低下が引き続いておりましたが、これを機に、アーレスティグループ全体で名刺と封筒を森林認証紙（FSC）に切替えました。引き続き、グリーン購入が当然という状況になるよう進めていきます。



GPN活動ポスター

グリーン購入率

品名	2008年度目標	全サイト実績
① O A・印刷用紙、名刺	85	75.5
② コピー機、ファクシミリ	100	99.9
③ パソコン	100	99.4
④ 文具、事務用品	75	89.7
⑤ オフィス家具	100	99.7
⑥ 自動車	100	100
⑦ トイレット・ティッシュペーパー	100	99.7
⑧ 照明ランプ	100	97.5
⑨ 冷蔵庫、洗濯機、エアコン	100	100

2008年度のグリーン購入率は、紙類が残念な結果となってしまいました。大きな要因として、名刺と封筒が古紙配合率偽装事件以降、いくつかのサイトで非対応品のままとなっていたためです。これを打開するため、アーレスティグループ全体で、FSC認証紙を使用した名刺と封筒への切替を行いました。2009年度は目標達成できる見込みです。

社員の声



(株)アーレスティ 栃木
黒川 貴美子



購買課ではグリーン購入率を上げる為、メーカーカタログを確認する他に、グループ会社や業者等へグリーン購入品を紹介してもらい、それを各課へ勧めています。調査する度、環境の大切さを改めて実感しております。

グリーン購買

生産活動に伴う製品の仕入れや、業務の委託に関しても環境のことを考慮し、グリーン購買を行っています。この活動の中で、委託先への環境活動の推進もお願いしていますが、早速エコアクション21を取得され、アーレスティと協力して環境活動をしたいという、頼もしい会社も出てきています。

安全管理

全社をあげて安全衛生活動を推進しています。

安全管理の取り組み

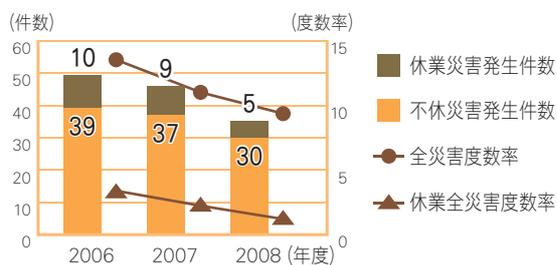


改良版『非常作業時の安全処置』対応カード

2008年度の総労働災害発生件数は35件、前年度46件に対し11件減（度数率※2007年度 11.02⇒2008年度 9.31）となりました。その中で、休業災害は5件、前年度9件に対し4件減（休業度数率2007年度 2.27⇒2008年度 1.33）となりました。今年度の災害発生時の作業状況においては、非常作業時の災害が目立ちました。2009年度は既存の『非常作業時の安全処置』対応カードを見直し、作業開始前に活用して、安全作業が行えるように改善します。

※度数率=災害件数×1,000,000÷延労働時間

労働災害発生件数



アーレスティグループ安全スローガン

(2007~2008年度)

「危険を予知して、リスク低減。
確立しよう 安全最優先職場！」

安全基本方針

快適な職場環境を目指し、安心と信頼を与える行動を広げるため、法令及び社内規定を遵守すると共に、『安全は全てに優先する』を基本に安全衛生活動を推進する。

安全ポスター

アーレスティでは毎年、厚生労働省発表の安全衛生年間標語を受け、独自の労働安全ポスターを作成しています。2008年は『リスクの発見 すばやい対処 みんなで築こう無災害』、2009年は『見過ごしません小さなリスク ゼロ災職場の合言葉』の安全衛生年間標語を受け、ポスターを作成しました。全工場にポスターを掲示し、社員の安全意識高揚、リスクアセスメントによる安全な職場づくりを展開しました。

2009年も同様ですが、更なる安全意識高揚を目指し、安全教育の実施にも力を入れていきます。



2008・2009年安全ポスター

社員の声



熊谷工場
杉山 幸久

私の安全推進活動は、後輩達に過去にあった事例を説明し、常に危険を予知してもらうことです。まず材料投入の際、投入する順番やどんな材料を投入すると危険なのかなど考えてもらうことです。また、鑄塊作業時の事故事例などを説明し、安全に作業できるよう心掛けさせています。

社会コミュニケーション

様々なカタチで社会と繋がり、貢献しています。



「写真が語るエコロジー」

環境フォト・コンテスト2009 <アーレスティ賞>

アーレスティでは、プレジデント社主催の環境フォトコンテストに協賛し、《つながる、つなげる》をテーマとした写真を募集しました。その結果、沢山の応募の中からとても強くテーマを感じる事ができる3作品を、表彰させて頂きました。

老木が朽ちてできた腐葉土から、新しい命が芽吹くように。雨つぶが集まって、魚たちのすむ清流をつくるように。地球に存在するあらゆるものは密接につながり合っています。通じ合う心、豊かな生活を支える技術、水や大地といった環境など、私たちのまわりのものを見つめ直すことから、環境問題を考えたいという思いをテーマ「つながる、つなげる」に託しました。あなたのまわりにある身近なつながりを発見してください。



画題「絆」

撮影: 田中ツヤ子さん

～作品コメント～

2008年5月中旬、釧路市丹頂鶴自然公園でのひとコマです。この公園では自然に近い状況でタンチョウを保護しています。一時絶滅しかけたタンチョウもこの年には1000羽を超え、5羽の雛もかえりました。タンチョウの生活環境である川、沼、湿原などが汚されたりしないように、今後もしっかり守っていきたいです。



画題「富士の恵み」

撮影: 菅沼英巳さん



画題「向日葵と電気」

撮影: 古橋一郎さん



ダイカスト会議・展示会

社団法人日本ダイカスト協会が隔年で主催する「2008ダイカスト会議・展示会」に、今年も出展しました。この展示会は国内の約90社が参加し、ダイカストに関わる様々な展示や発表が行われました。アーレスティでも製品の展示だけでなく、研究論文発表や改善事例発表を行いました。



アーレスティグループ報

2008年度は新たに、グローバルグループ報「All for one」を発行し、国内外問わずアーレスティ内のコミュニケーションを活発に行っています。もちろん、国内グループ報の「WILL」も社内報としては、2009年1月号で通算421号と、歴史を重ねています。



第三者による活動評価

アーレスティでは、公的機関やマスメディアによる調査やアンケートに、回答しております。こういった調査の評価から、アーレスティに足りない部分を研究し、企業活動のレベルを上げています。

活動評価例

- ◆日本経済新聞社：日本経済新聞
第12回「企業の環境経営度」調査271位
／調査対象4,435社のうち、回答510社中
- ◆ダイヤモンド社：週刊ダイヤモンド
上場企業 温暖化防止貢献度ランキング101位
／調査対象3,925社のうち、回答251社中
- ◆三菱UFJリサーチ&コンサルティング社：
「企業の環境対応調査に関する報告書」環境への
取り組みが認められる企業、取り組み進んでいる
企業385社に選出

産学官連携

熊本テクノ産業財団
や熊本大学の主導の
もと、2つの公共機関、
7つの大学、そして
アーレスティを含む



12の民間企業が協力し、「次世代耐熱マグネシウム合金の基盤技術開発」というテーマで研究を行っています。2008年1月には「第3回モノづくり連携大賞 新技術開発賞」を受賞しました。

IR活動状況

2008年度も個人投資家向け会社説明会を開き、事業概要などの情報提供を行ってまいりました。また投資家向けに、毎年アニュアルレポートによる事業報告も行っています。



環境報告書バックナンバー



TOPICS

環境への取り組みを拡大するため、環境マネジメントの仕組みを未導入のグループ会社が、エコアクション21の導入を進めました。

全社員の環境への関心を高めるため、アーレスティではe c o検定を活用しています。2010年には20%の社員が合格できるよう目指しています。



エコアクション21

活動紹介

エコアクション21は、環境省が国内中小事業者向けに策定した「環境への取り組みを効果的に行うためのシステム」です。この環境マネジメントのシステムは、ISO14001と比べると、導入が比較的容易に出来るようになっています。国内アーレスティグループで環境マネジメントシステムを導入していなかったアーレスティテクノサービスと、アーレスティダイモールドグループの取り組みについて、ご紹介します。

アーレスティテクノサービスの取り組み



苦労した点

まず1つ目は『エコアクション21とは何か』を理解するところから苦労しました。推進委員への確な指示をするに当たり、まず自分が理解しなければならない。その為に独学が必要不可欠だったところです。

2つ目は、全社員に環境活動を浸透していく事でした。環境管理実施体制通りに行うのが理想ですが、トップダウンがうまく行われず、事務局と一部の推進委員で実行しなければならなかった事です。それでも後半は、全員が協力してくれました。



(株)アーレスティ
テクノサービス

森下 政浩



感想

今回エコアクション21に取り組んだ事で、電気使用量・化石燃料使用量・水使用量・廃棄物量が把握できました。それによりムダが見え、環境活動内容および計画が立て易くなりました。また、廃棄物においては、分別方法を見直した事により、リサイクル率がUPしました。今まで、もったない物があった事が分かり、大変良かったです。また、環境関連法規制やエコ商品・グリーン調達品の相違点などを学べた事により、自分自身のスキルUPも出来ました。



意気込み

地球上の生物は、今の環境状況の異常によって、絶滅するなど様々な変化が起きています。その為、生態系の崩れなどが発生しています。また、オゾン層の破壊や地球温暖化により様々な地球環境問題が発生し続けている。これ以上、人間の身勝手な生活・地球環境を変えてはいけません。今後、地球にお世話になっていく者として、CO₂排出量削減は最低限やる事です。この想いを世代問わずに広め、積極的な環境保全活動に取り組んでいきます。



勉強会の様子

アーレスティダイモールドグループの取り組み

苦労した点

エコアクション21の活動は環境省のガイドラインに従って、環境へ配慮した生産活動ができる企業とすることですが、身近なゴミから法令まで環境へ関わる項目が多く、全体の流れを形にするまでに時間がかかりました。

また、削減目標にたてたもののうち水や廃棄物は目に見える物なので実施結果が解り易いですが、CO₂の場合は削減結果に直接関わっているという意識が持ちづらく、環境に貢献している実感を持たせることが難しい状況でした。

感想

今回は、ダイモールドグループとテクノサービスの4社合同での取得活動となりました。

各工場の担当者も、初めて環境に取り組むことから、進め方に戸惑いや不安はありましたが、各工場でお互いの情報を取り合って進めることができたことは有意義でした。

社内での環境活動では、地域のゴミ拾い活動ぐらいしか行われていませんでしたので、普段の生産活動に関連付けて、環境への意識を向上させる良いきっかけとなりました。

意気込み

環境活動としてのエコアクション21は、本社で取得しているISO14001より身近な活動に感じます。まだ始まったばかりの活動ですので、至らない点も数多くありますが、現地審査で頂いた指摘や助言を元に、環境に与える影響を細かい部分まで把握できるように、他工場とも情報交換をして、わかりやすい目標を立てて従業員一人一人が日常作業で環境を意識した生産活動が出来るよう、活動を進めたいと思います。



(株)アーレスティ
ダイモールド浜松

今泉 和之

eCO 検定

アーレスティでは、環境意識の高い人材育成のため、商工会議所が主催している環境社会検定試験（通称e c o検定）の受検を推進しています。



現在のエコピープル（合格者のこと）は、アーレスティグループで146名になりました！

工場で働く一人ひとりの活動の積み上げが、アーレスティ全体の環境活動の結果となるため、個人の環境意識のレベルが活動に大きく影響します。

エコピープル 合格者の 声



豊橋工場
藤井 祐江

最近よく耳にする“エコ”という言葉が、受検を通してより身近なものとなりました。環境問題は範囲が広く難しい問題ですが、今の自分に何が出来るかを考え環境に関心をもって行動していきたいと思います。

エコピープル 合格者の 声



(株)アーレスティ熊本
岡崎 秀一

これまでも総務課の業務として廃棄物管理や水処理に関わってきましたが、e c o検定を受検し、あらためて環境に関する歴史的背景や地球規模での環境への取り組みの重要性など知識・意識の向上に役立ちました。美しい住み良い地球を後世に伝えるためにも一人一人が身近な活動が必要だと感じました。



環境方針

環境先進企業を目指し、活動を続けていきます。

1. 私たちは私たちの開発、生産、販売、廃棄の活動が地球環境と深く関連し影響を与えていることを明確にとらえ、環境目的・目標・実施計画を定め、それらを必要に応じて見直し、環境保全活動の継続的な改善をはかります。
2. 私たちは国・地方公共団体・利害関係者などの環境規制、規則、協定などの要求事項を順守し、さらに技術的・経済的に可能な範囲で自主基準を定め、一層の環境保全に取り組みます。
3. 私たちは特に次の項目について優先的に活動し、環境保全と汚染予防に取り組みます。
 - ① 大気汚染、水質汚濁に関する施設・工程の管理・改善を徹底します。
 - ② 廃棄物の再資源化100%を維持します。
 - ③ 廃棄物総排出量の減量、アルミリサイクル事業の拡大を推進し、循環型社会へ貢献します。
 - ④ CO₂排出の抑制をはかり、地球温暖化防止への配慮をします。
 - ⑤ 環境に配慮した製品及び商品の開発・設計に取り組みます。
4. 私たちは従業員一人ひとりの環境保護意識の向上をはかるため、教育・啓蒙活動を継続的に行います。
5. 私たちは良き企業市民として、地域社会の環境保全に努め、地域との共生をはかります。

～ 私たちはこの環境方針を社内外を問わずに公表いたします ～

2005年4月18日 改2

株式会社 アーレステイ

取締役社長 **高橋 新**

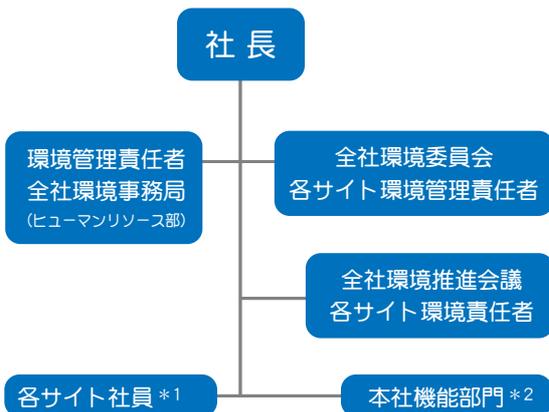


環境組織

環境マネジメントシステムを有効に機能させます。

環境管理体制

アーレスティは、社長をトップとした環境管理体制をとっています。各部門（サイト等）のトップが環境管理責任者となり、環境マネジメントシステムを有効に機能させています。環境に係わるルールは、社長の承認のもとに規定化され、一定の活動水準を保つよう取り組んでいます。



*1 各サイト社員
本社・浜松工場・東松山工場・熊谷工場・豊橋工場・
テクニカルセンター・(株)アーレスティ栃木・
(株)アーレスティ熊本・(株)アーレスティ山形

*2 本社機能部門
ヒューマンリソース部・商品営業部

ISO14001の取得状況



環境マネジメント国際規格のISO14001取得状況は、アーレスティでは国内主要7工場（子会社3社含む）およびテクニカルセン

ターで一括認証取得しています。また海外では、北米のアーレスティウィルミントンおよび中国の広州アーレスティが取得しています。

内部環境監査

地球環境や地域環境を守るために定めたアーレスティの環境規定があります。これらを確実にしているか、また環境法令を順守しているか定期的に確認するため、内部環境監査を行っています。内部環境監査は、一定の知識・能力を持った人が内部環境監査員として内部登録され、所属するサイト以外の監査を担当しています。



社員の声



(株)アーレスティ山形
安部 芳宏

私は、内部監査を行うようになって環境問題の意識が高まり、日常生活の中でも意識するようになってきました。まだまだ「やれ」と言われてからの人が多いのが実情と思いますが、一人ひとりが直接携わる事で、理解と意識を向上出来るのではと感じています。



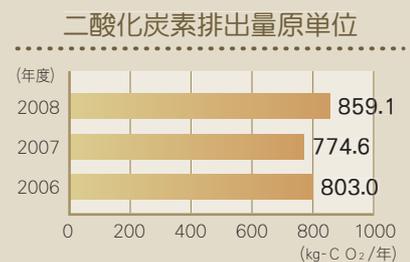
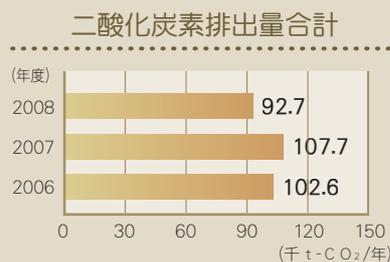
環境目標と実績

2008年からの三ヵ年計画の目標と2008年度結果です。

2008年度環境目標と実績

環境区分	2008年度目標	2008年度結果	評価
大気 水質 騒音等	各サイトで自主基準を順守する	法定基準値を全てのサイトで満足 (自主基準値超過不適合1件)	
	工場毎に汚染のリスクの可能性を評価し、 実態調査をする	土壌汚染の可能性を調べる工場履歴調査 (Phase1調査)を実施	
廃棄物	廃棄物総量を2004年度比「35%」削減する	2004年度比44.8%削減を達成	
	リサイクルの質を上げるよう、 廃プラスチックの分別等を徹底し、 2009年度以降の活動の準備をする	法定及び自主分別の徹底実施	
	廃棄物管理の状況把握および廃棄物処分業者の 実態調査を行い、2009年度以降の仕組み 構築の準備をする	実態調査完了 管理ルールを規定化	
省エネ 省資源	地球温暖化対策として、CO ₂ 総量削減を行う (2010年度にCO ₂ 総量を 2006年度値以下にする)	2006年度比10.6%削減を達成	
グリーン 調達	主要取引先へ、エコアクション21の取得の 意義説明や要請を行い、2009年度以降の 推進の準備をする。	委託先へのエコアクション21の 取得推進活動を開始	
	グリーン購入率の達成(9分類: 紙類85% 文具類75% その他100%)	紙類75% 文具類89.7% その他99.6%	
その他	サイト毎にe c o検定の合格者を、 社員の7%以上にする	合格者8.4%を達成(145名)	
	自動車部品の軽量化によりCO ₂ 削減に貢献する	シャーシ部品の量産を開始	

生産工程 推移



コラム

土壌汚染の調査とは

工場で使用した資材等のうち、有害性のある物質が事故などで地中に流出した場合に、土壌汚染は発生します。アーレスティでは、比較的有害物質の取り扱いが少ないものの、土壌汚染されている可能性のある場所はないか調査し、実際に土を採って調べるための予備調査を完了しました。

自己評価

(目標達成度) 100%以上



90%以上



70%以上



50%以上



0%未満



2008～2010年度目標

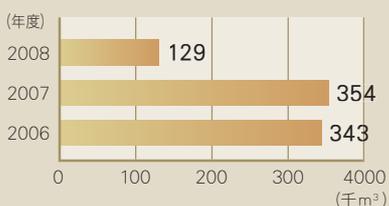
2009年度目標

各サイトで自主基準を順守する	施設・工程の管理原因による 不適合発行件数をゼロにする
土壌汚染、地下水汚染などの蓄積性の汚染の処置と 予防をする	工場毎に、汚染の懸念される事項について、 処置に必要な詳細な調整と、予防活動を行う
廃棄物の総量削減を進める（2004年度比「50%」削減） ※目標「45%」から「50%」に引上げ	廃棄物総量を2004年度比45%削減する
廃棄物の再資源化を進める	法的小および再資源化に併せて適切な分別を行い、 再資源化を促進する
廃棄物処分業者を含む廃棄物管理の仕組みを構築する	規定化された仕組みを、確実に運用する
地球温暖化対策として、CO ₂ 総量削減を行う (CO ₂ 総量を2006年度値以下にする)	地球温暖化対策として、CO ₂ 総量削減を維持する。 CO ₂ 原単位は、2006年度原単位5%削減する
グリーン購買を推進する (エコアクション21の取得を推進し、 2012年度末100%取得を目指す)	主要取引先の環境マネジメントシステム構築のため、 エコアクション21要求事項チェック表の19項目 のうち、5項目実施を目指す
グリーン購入を推進する（9分類： 紙類95% 文具類85% その他100%）	グリーン購入（9分類）を推進する (紙類95% 文具類85% その他100%)
環境に対する意識を高める (e c o検定合格者を社員の20%以上にする)	サイト毎にe c o検定の合格者を、社員の14%以上にする (同等の社内資格に移行計画)
自動車部品の軽量化によりCO ₂ 削減に貢献する	自動車部品の軽量化によりCO ₂ 削減に貢献する

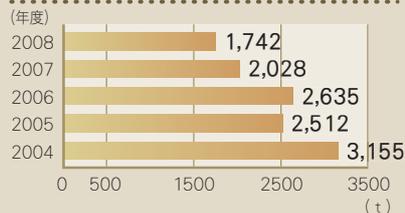
環境

地球環境との関わり

水使用量(地下水・水道水)



廃棄物総排出量



最終処分された廃棄





マテリアルフロー

様々なコストやエネルギー、資材を使い製品を生産しています。

INPUT (投入)



燃料（重油、灯油など）
12,253kℓ



電気
60,255千kwh



ガス
1,853 t



アルミ合金投入量
147,666 t



上水
72021m³



地下水
56,835m³



化学物質（社内申告対象物質）
1.3 t



アルミ資源
31,856 t



環境コスト
269,549,000円

分類・主な取り組みの内容

事業所エリア内コスト

内 訳	公害防止コスト 排水処理設備管理・更新・設備導入、排ガス処理 および集塵装置の維持管理、騒音対策
	地球環境保全コスト 省エネ活動（電気、重油）、省エネ設備導入、 工場緑化、維持電力監視モニター
	資源循環コスト 水の循環利用、廃棄物・資源ごみの処理（分別・ 処分）、再生油の使用

小 計

上・下流コスト

グリーン購入

管理活動コスト

環境委員会、内部監査、ばい煙・ダイオキシン・
排ガス・騒音測定、社内教育訓練、
ISO14001 認証維持

研究開発コスト

合金協会（環境保全テーマ）、
地金中環境負荷物質調査

社会活動コスト

工場見学の受入れ、地域清掃活動、近隣コミュニ
ケーション活動、ボランティア活動、NPO寄付

環境損傷対応コスト

汚染負荷量賦課金

小 計

収 入 計（有価物売却）

合 計

コラム

汚染負荷量賦課金とは

環境コストに計上している「汚染負荷量賦課金」とは、著しい汚染により起きた疾病を補償する制度（公害健康被害補償法）における義務で、昭和62年時点で硫酸化物を排出していた全ての事業者は一定の納付義務があり、そのために納付する費用です。



(単位：千円)

	環境保全コスト	
	投資額	費用額
	23,290	111,864
	86,010	35,296
	675	56,460
	109,975	206,620
	—	43,569
	0	16,750
	0	136
	0	1,701
	0	3,773
	0	65,929
		87,440
	109,975	269,549

※投資は投資等固定資産になるもの 費用はその他

OUTPUT (生産および排出)



製品生産量
78,044 t



アルミ合金生産量（熊谷工場）
29,872 t



CO₂
92,736 t-CO₂



排水
43,705m³



廃棄物（リサイクル）
1,742 t



廃棄物（最終処分）
7 t



金型生産型数
159型
（アーレスティダイモールド
グループ）



海外での環境対策

海外アーレスティグループも環境活動を行っています。



広州阿雷斯提汽车配件有限公司・阿雷斯提精密模具(広州)有限公司

Ahresty India Private Limited

Thai Ahresty Engineering Co., Ltd.
Thai Ahresty Die Co., Ltd.

Ahresty Wilmington Corp.

Ahresty Mexicana, S.A.de C.V.

アーレスティインド

アーレスティインドは、スタート当初から環境に配慮した工場という観点で、溶解炉排ガスには湿式集塵機を取り付けて、大気汚染防止を図るとともに、工場廃水は廃水処理装置により、日本の法令の河川放流レベルまで、廃水を浄化をしています。さらに、一部廃水は再利用をしております。

一方、ゴミの分別といった日本では当たり前前の活動が、インドではほとんどありません。まずは、このゴミの分別が確実にできるようになるところから始めていきます。



アーレスティメヒカーナ

アーレスティメヒカーナは、メキシコ資源環境省の規定に沿って外部機関による監査を行い、廃水や廃棄物、危険物などの改善活動を行っています。2008年度から開始し、2年間の活動計画で行っており、2009年度末に完了する予定です。2008年度末現在では、廃棄物削減など13種類の活動を実施しており、全体では64%程度の進捗になっています。また、活動に併せて排ガスなどの基準値についても法定基準値以上の自主基準値を設定して、環境への負荷を少なくしていきたいと思っております。





アーレスティ・グリーン大会

各工場の環境改善活動発表を毎年行っています。

アーレスティ・グリーン大会

「第6回アーレスティ・グリーン大会」は、毎年各サイトの環境設備担当者を集めて開催しています。2008年は新たに、製品加工のアーレスティプリテック（旧：東海精工）も活動発表に加わり、ダイカスト工場とは違った視点で、活発な意見をやりとりすることができました。また、金型製造のダイモールドグループからも多く出席し、アーレスティグループ全体でのコミュニケーションを行うことが出来ました。



第6回

アーレスティ・グリーン大会

開催日: 2008年12月4日(木)

開会の挨拶

マシン潤滑油使用量の削減 浜松工場

雨水排水の改善の取り組み 熊谷工場

I-廃液の削減 II-廃プラ圧縮梱包 豊橋工場

簡易脱水装置による
水処理汚泥の削減 (株)アーレスティ 栃木

マシン潤滑の廃油を再利用する (株)アーレスティ 熊本

コンプレッサー電力使用量の削減 (株)アーレスティ 山形

電気使用量の削減 テクニカルセンター

 マシニングセンター油圧ポンプの
インバーター化によるCO₂の削減
(株)アーレスティプリテック



高橋社長 総評
閉会挨拶



発表者の声

発表内容 アーレスティグループの加工部門の会社として、マシニングセンター（MC）という設備等を使用して、アルミダイカスト製品の精密切削加工を行っています。今回の発表は、CO₂排出量を削減するために、MCに使用されている油圧ポンプのインバータ化を行いました。そこで、3種類のインバータ搭載型ポンプを選定し、交換・比較検証したところ1台あたり60～77%ほどの省エネ効果を得ることができました。



(株)アーレスティ
プリテック
森山 恒祐

発表の感想 アーレスティプリテックは、今回のグリーン大会が初参加ということもあり、私自身もとても緊張していたことを覚えています。参加された方々に発表内容を上手く伝える事ができたかどうか心配な部分もありましたが、終わった時の達成感は心地よいものでした。また、他事業所の発表内容も非常に興味深く、今後の参考になる事例が多くありました。このグリーン大会での経験を活かし、今後とも社内の環境改善活動を更に活発化させるよう努力していきます。

工場サイトレポート

環境負荷の少ない生産活動を目指しています。



東松山工場

住 所 〒355-0812
埼玉県比企郡滑川町大字都25-27
電 話 0493-56-4421
生 産 品 目 ダイカスト製品の製造
敷地面積 13,774m²



工場長 赤石 雄二

2008年度は、事業内容の変更に伴う新設備への切替により、旧設備の処分など多くの廃棄物を出すことになってしまいましたが、廃棄物削減以外の環境目標は、達成することが出来ました。今後も、環境に配慮した活動を通じ、社会貢献に努めます。

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	K 値17.5以下	0.15	0.18	0.02	0.28	0.08	0.10
	NOx	180ppm	26	51	17	58	10	37
	塩化水素	—	—	—	—	—	—	—
	ばいじん	0.2g/Nm ³	<0.01	0.01	<0.01	0.01	<0.01	0.020
	ダイオキシン	—	—	—	—	—	—	—
水 質	pH	5超~9未満	6.8	7.5	6.8	7.4	6.6	7.5
	BOD	300mg/ℓ	11.0	300.0	18.0	280.0	8.0	250.0
	SS	600mg/ℓ	14	91	5	80	1	33
	n-ヘキサン	5mg/ℓ	<1	3.3	<1	3.6	<1	4.5
騒 音	昼間	—	—	—	—	—	—	—
	朝・夕	—	—	—	—	—	—	—
	夜間	—	—	—	—	—	—	—



熊谷工場

住 所 〒360-8543
埼玉県熊谷市御稜威ヶ原284-11
電 話 048-533-5161
生 産 品 目 アルミニウム合金地金の製造
敷地面積 47,105m²



工場長 酒井 和之

2008年度は、原材料付着油の流出防止活動として切粉置場屋根設置と油水分離槽設置対策を行いました。今年度も、更なる環境保全活動を推進してまいります。

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	2.52Nm ³ /h	<0.033	0.96	<0.035	1.30	<0.02	0.85
	NOx	140ppm	16	84	27	140	25	84
	塩化水素	200mg/Nm ³	1.0	19.3	<1	<22.5	4	<54
	ばいじん	0.15g/Nm ³	0.002	0.039	<0.001	0.072	<0.001	0.075
	ダイオキシン	5ng/Nm ³	0.002	0.470	0.086	0.27	0.011	0.71
水 質	pH	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	—	—	—	—	—	—	—
	SS	—	—	—	—	—	—	—
	n-ヘキサン	—	—	—	—	—	—	—
騒 音	昼間	—	—	—	—	—	—	—
	朝・夕	—	—	—	—	—	—	—
	夜間	—	—	—	—	—	—	—



浜松工場

住 所 〒433-8520
静岡県浜松市中区小豆餅4-14-1
電 話 053-436-2111
生産品目 ダイカスト製品の製造
敷地面積 45,483m²



工場長 松下 正行

2008年度は、引き続き廃棄物削減に取り組み、廃油量と製品敷紙の削減で大きな成果を得る事が出来ました。CO₂削減について成果は得られたものの、原単位では悪化したため、2009年度はCO₂削減については重点的に改善活動を進めていきます。

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	2.14Nm ³ /h	0.02	0.40	0.02	0.15	<0.01	0.38
	NOx	180ppm	2	100	2	110	4	95
	塩化水素	80mg/Nm ³	5.0	11.0	<5.0	12.0	<5.0	6.0
	ばいじん	0.3g/Nm ³	<0.01	0.020	<0.01	0.120	<0.01	0.048
	ダイオキシン	5ng/Nm ³	0.014	0.990	0.220	1.100	0.002	0.031
水 質	pH	5超~9未満	6.1	7.8	5.0	7.5	7.0	7.4
	BOD	300mg/ℓ	6.1	83.0	7.2	100.0	8.0	68.0
	SS	300mg/ℓ	5	64	17	120	18	79
	n-ヘキサン	35mg/ℓ	0.5	1.1	0.5	3.3	<0.5	0.8
	騒 音	昼間	65dB	61		60		57
朝・夕		60dB	59		56		49	
夜間		55dB	54		53		49	



豊橋工場

住 所 〒441-3153
愛知県豊橋市二川町字東向山80
電 話 0532-41-0511
生産品目 ダイカスト製品の製造
敷地面積 89,632m²



工場長 松下 秀之

里山の保全活動も定着し環境意識の高まりもあって、多くの人がe c o検定にトライしてくれました。合格者も48人になり取得率は目標の2倍に達しました。今後共、地域と密着したエコ活動を推進して行きます。

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	3.3Nm ³ /h	0.01	0.07	0.01	0.13	0.01	0.12
	NOx	180ppm	23	65	41	71	40	83
	塩化水素	-	-	-	-	-	-	-
	ばいじん	0.2g/Nm ³	<0.005	0.015	<0.005	0.007	<0.005	0.094
	ダイオキシン	-	-	-	-	-	-	-
水 質	pH	5.8~8.6	6.9	8.6	6.8	7.5	6.8	7.5
	BOD	160mg/ℓ	3.4	20.0	2.9	24.0	0.6	13.0
	SS	200mg/ℓ	1	46	2.0	23.0	1	6
	n-ヘキサン	5mg/ℓ	<1	1.0	<1	1.0	<1	2.0
	騒 音	昼間	70dB	61		63		61
朝・夕		65dB	60		61		60	
夜間		60dB	60		56		58	

項目説明

大 気

工場から出る排気ガスは、排気ガス処理装置により清浄化され、大気に排出しています。測定物質は、法令により定められており、これらは燃焼により発生する物質を対象としています。

水 質

工場から出る排水は、排水処理槽に貯められた後、微生物処理などにより清浄化され、河川や下水道に排水しています。特に河川放流の場合は、法令による基準値が厳しく定められています。

騒 音

生産活動に伴って発生する騒音は、周辺への問題が無いレベルに抑える必要があります。規制値は、朝・夕、昼、夜間や地域で区別され、夜間は基準値が厳しくなっています。この区分の時間範囲は、市町村で定められるため、地域によって異なります。



テクニカルセンター

住 所 〒441-3114
愛知県豊橋市三弥町中原1-2
電 話 0532-65-2170
事業内容 製品の設計・研究開発
敷地面積 18,067m²



部長 三中西 信治

2008年度は、事務所の省エネ活動として照明の20%削減に取り組み、達成することができました。また本業では、自動車の軽量化貢献によるCO₂削減に取り組み、2009年春にシャーシ部品4点の量産を開始しました。更に秋には、足回り部品5点の量産も開始する予定です。

	項目	基準値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	—	—	—	—	—	—	—
	NOx	—	—	—	—	—	—	—
	塩化水素	—	—	—	—	—	—	—
	ばいじん	—	—	—	—	—	—	—
	ダイオキシン	—	—	—	—	—	—	—
水 質	pH	5.8~8.6	6.1	6.9	5.9	7.0	5.8	7.1
	BOD	20mg/ℓ	4.6	5.6	1.2	8.6	0.6	5.0
	SS	50mg/ℓ	5.0	8.0	1.0	8.0	1.0	8.0
	n-ヘキサン	—	—	—	—	—	—	—
騒 音	昼間	70dB	41	45	43	51	45	57
	朝・夕	—	—	—	—	—	—	—
	夜間	—	—	—	—	—	—	—



(株)アーレスティ栃木

住 所 〒321-0215
栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
電 話 0282-82-5111
生産品目 ダイカスト製品の製造・
フリーアクセスフロアパネルの製造
敷地面積 90,060m²



社長 小倉 正己

汚泥を圧縮する事で、廃棄物削減に効果を上げました。省エネでは、溶解炉の操業方法見直しによる重油使用量の削減に効果が上がりつつあり、室内冷暖房の温度管理、昼休みの消灯などの活動も定着してきました。今後も全社員共通認識のもと、省エネ活動に取り組みます。

	項目	基準値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	K 値17.5以下	0.04	0.89	0.01	0.83	0.03	0.56
	NOx	180ppm	14	50	13	35	34	96
	塩化水素	40mg/Nm ³	<3	24.0	<6	11.0	5.1	8.1
	ばいじん	0.3g/Nm ³	0.020	0.120	0.011	0.120	0.006	0.075
	ダイオキシン	—	—	—	—	—	—	—
水 質	pH	5.8~8.6	7.1	7.9	7.1	7.8	7.2	7.7
	BOD	20mg/ℓ	6.5	14.9	3.7	19.0	3.4	16.6
	SS	40mg/ℓ	3	22	2.4	19.2	2	29.0
	n-ヘキサン	5mg/ℓ	<0.5	1.5	<0.5	1.1	<0.5	1.7
騒 音	昼間	75dB	61	59	65	65	65	65
	朝・夕	70dB	61	62	63	63	63	63
	夜間	60dB	57	58	58	58	53	53

コラム

測定項目の設定について

各工場での測定項目は、管轄行政からの指導により決定しています。これらは、水質汚濁防止法や大気汚染防止法などの法律に基づき、各地域で制定された条例をもとに数値等が設定されています。工場によって異なるのは、操業内容の違いだけでなく、こういった理由もあります。



(株)アーレスティ熊本

住 所 〒869-0521
 熊本県宇城市松橋町浦川内36
 電 話 0964-33-3111
 生産品目 ダイカスト製品の製造
 敷地面積 34,342m²



社長 松永 太嘉生

2008年度は、溶解炉の燃料使用量削減を主としたCO₂削減に取り組みました。CO₂総排出量の目標は達成できましたが、受注量の激減により原単位は悪化してしまいました。今年度も省エネ・省資源のための活動を継続して行うと共に、廃棄物の削減や再資源化の推進など、より一層の改善に取り組んでまいります。

	項目	基準値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	K 値6.42以下	0.01	0.03	0.01	0.01	0.03	0.07
	NOx	180ppm	17	32	19	46	15	50
	塩化水素	80mg/Nm ³	8.0	11.0	3.0	8.0	1.0	10.0
	ばいじん	0.1g/Nm ³	0.010	0.030	0.010	0.020	0.010	0.010
	ダイオキシン	—	—	—	—	—	—	—
水 質	pH	5.8~8.6	7.0	8.0	7.2	8.0	6.9	8.0
	BOD	30mg/ℓ	1.0	11.0	1.0	10.0	1.0	4.0
	SS	60mg/ℓ	1.0	9.0	1.0	6.0	1.0	1.0
	n-ヘキサン	5mg/ℓ	0.5	0.6	0.5	0.7	0.5	0.5
	騒 音	昼間	70dB	51		53		67
朝・夕		65dB	51		53		57	
夜間		60dB	52		52		54	



(株)アーレスティ山形

住 所 〒992-0832
 山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥乙65
 電 話 0238-85-5233
 生産品目 ダイカスト製品の製造
 敷地面積 33,295m²



社長 蒲生 新市

2008年度は、工場の増築・機械の増設に伴うリスク評価を行い、環境への配慮活動はほぼ計画通りの日程で推進できました。しかし、残念ながら、廃棄物の削減が未達となっていました。今年度の環境活動の重点項目として、廃棄物削減活動を推進していきます。

	項目	基準値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SOx	2.33Nm ³ /h	0.20	0.70	0.50	0.54	0.17	0.32
	NOx	180ppm	60	87	36	55	37	61
	塩化水素	—	—	—	—	—	—	—
	ばいじん	0.2g/Nm ³	0.020	0.040	0.020	0.030	0.020	0.030
	ダイオキシン	—	—	—	—	—	—	—
水 質	pH	5.8~8.6	7.1	8.4	7.1	7.9	7.1	8.1
	BOD	20mg/ℓ	2.2	8.1	2.4	19.5	1.0	14.9
	SS	50mg/ℓ	1.0	15.0	1.6	11.2	1.0	8.4
	n-ヘキサン	5mg/ℓ	0.5	2.6	0.5	4.8	0.5	4.6
	騒 音	昼間	70dB	69		69		69
朝・夕		—	—		—		54	
夜間		—	—		—		52	

コラム

アーレスティの自動車省エネ化貢献

アーレスティでは、ダイカスト製品による車両の軽量化で、自動車の省エネ化に貢献しています。
 最近の環境型自動車として主流になりつつあるハイブリッド車でも、アーレスティのマグネシウムPCUケースを、ホンダのインサイトの電力制御ユニットを収納するケース部分に供給しています。



(株)アーレスティプリテック

住 所 〒433-8117
静岡県浜松市中区高丘東3-8-38
電 話 053-436-2121
事業内容 オートバイ・自動車・汎用機の主要構成部品の
精密機械加工
敷地面積 23,616m²



社長 鈴木 利幸

2008年度のCO₂削減テーマ「付加価値を生んでいない時間の電気使用量削減」として、アーレスティプリテックの各工場で改善し、効果を出すことができました。今年度も省資源や産廃削減活動などの実行計画を立て、展開していきます。

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SO _x	—	—	—	—	—	—	—
	NO _x	—	—	—	—	—	—	—
	塩化水素	—	—	—	—	—	—	—
	ばいじん	—	—	—	—	—	—	—
	ダイオキシン	—	—	—	—	—	—	—
水 質	pH	5.9~9.0	7.0	7.4	7.0	7.6	6.8	7.2
	BOD	600mg/ℓ	61.8	447.0	35.9	206.0	37.9	125.0
	SS	600mg/ℓ	5.4	72.4	12.5	57.6	6.1	37.1
	n-ヘキサン	5mg/ℓ	<2.5	3.9	<2.5	2.8	<2.5	
	騒 音	昼間	70dB	62		60		62
朝・夕		65dB	59		59		56	
夜間		60dB	58		54		55	



(株)アーレスティテクノサービス

住 所 〒434-0013
静岡県浜松市浜北区永島938
電 話 0282-82-5111
生産品目 ダイカスト周辺機器の製造・販売ほか
敷地面積 9,241m²



社長 鹿山 貴與志

エコアクション21取得に向けた活動を契機に、皆の意識高揚と体制づくりに努め、認証取得出来そうです。2009年度の目標値も決まり、より密度の高いエコ活動が日常で生かされていくよう、全社員一丸となり積極的に環境保全活動を推進していきます。

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
大 気	SO _x	—	/		/		—	—
	NO _x	—					—	—
	塩化水素	—					—	—
	ばいじん	—					—	—
	ダイオキシン	—					—	—
水 質	pH	5.8~8.6	/		/		7.3	
	BOD	60mg/ℓ					12.1	
	SS	—					—	—
	n-ヘキサン	—					—	—
	騒 音	昼間					—	/
朝・夕		—	—	—				
夜間		—	—	—				

コラム

二酸化炭素 (CO₂) の排出量とは

CO₂の排出量とは、電気・ガス・燃料（重油やガソリン等）の使用量から、使用した場合に発生するCO₂量を算出した数値です。なお電気については、火力発電に使われたエネルギー（原子力や風力等はCO₂排出0）を換算しています。このため、各サイトデータにあるSO_x等の測定とは異なり、実測はしていません。



(株)アーレスティダイモールド浜松

住 所 〒431-1104
静岡県浜松市西区桜台5-3-10
電 話 053-436-1711
生 産 品 目 ダイカスト製品用金型製作
敷地面積 13,320m²



(株)アーレスティ
ダイモールド
浜松・熊本・栃木
社長 福島 聖博

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
水 質	pH	—					—	—
	BOD	—					—	—
	SS	—					—	—
	n-ヘキサン	—					—	—
騒 音	昼間	70dB					57	
	朝・夕	65dB					57	
	夜間	60dB					56	

金型部門も2008年度から、本格的に環境改善活動に取り組み始めました。2009年6月には国内の3工場が、エコアクション21の認証取得の予定です。

2009年度は生産活動のムダを省き、環境目標達成に向けて改善活動を推進していきます。



(株)アーレスティダイモールド熊本

住 所 〒869-0521
熊本県宇城市松橋町浦川内12
電 話 0964-33-3536
生 産 品 目 ダイカスト製品用金型製作
敷地面積 12,987m²

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
水 質	pH	5.8~8.6					8.0	
	BOD	90mg/l					19.2	
	SS	—					—	
	n-ヘキサン	—					—	
騒 音	昼間	70dB					66	
	朝・夕	65dB					61	
	夜間	—					—	



(株)アーレスティダイモールド栃木

住 所 〒321-0215
栃木県下都賀郡壬生町大字壬生乙4060
電 話 0282-82-2150
生 産 品 目 ダイカスト製品用金型製作
敷地面積 6,612m²

	項 目	基 準 値	2006年度		2007年度		2008年度	
			最低値	最高値	最低値	最高値	最低値	最高値
水 質	pH	—					—	—
	BOD	—					—	—
	SS	—					—	—
	n-ヘキサン	—					—	—
騒 音	昼間	85dB					80	
	朝・夕	—					—	
	夜間	—					—	

*アーレスティテクノサービスおよびアーレスティダイモールドグループは、法的な測定義務がないために自主測定を掲載しています。この為、測定項目が工場の操業状況に応じて異なります。ご了承下さい。



お問い合わせ先

株式会社 アーレスティ
ヒューマンリソース部 環境安全課
東京都中野区中央1-38-1 住友中野坂上ビル11F
TEL 03-5332-6001 FAX 03-5332-6037
URL <http://www.ahresty.co.jp/>



株式会社 アーレスティはグリーン購入ネットワークの会員です。



発行日 2009年 6月

製作協力：株式会社 市 瀬

印刷製本：株式会社 栄光舎